

## 心豊かで潤いのある社会を目指して

### ◎第5回鬼北町社会福祉大会

11月22日、広見体育センターで社会福祉大会が開催され、230人が出席しました。会では、山本雅之社会福祉協議会会長が、日頃の福祉活動に対する感謝を述べ「この大会が当町の福祉の将来のために意義のあるものとなるよう願う」とあいさつ。社会福祉に貢献のあった個人や団体に感謝状、表彰状が贈られたほか、障害児の教育・福祉に一生を捧げた石井筆子さんを取り上げた映画が上映され、参加者は大会を通して福祉

▼山本会長から表彰を受ける受賞者(右)



活動の重要性を再認識していただきました。

表彰を受けられた方々は次の皆さんです。(敬称略)

#### 【感謝状】

藤田安光(下鍵山)、程内チズ子(川上)、末廣茂(大宿)、上甲典広(下大野)、森中正道(近永)、宮崎雄一(奈良)、酒井利一(久保)、高瀬良一(東京都)、善家要(西仲)、兵頭敬志(奈良)、鬼北町女性団体連絡協議会、松永光雄(出目)、高田光一(出目)、上本史子(中野川)、湯上忠直(出目)、平井一志(延川)、松浦武(中野川)、篠崎萬亀子(畔屋)、酒井創(久保)、芝榮子(近永)、善家セツ子(近永)、吉川壽雄(日向谷)

#### 【表彰状】

▼ボランティア 芳村伴子(出目)、灯ろう流し保存会、日吉盆栽会、鬼北町老人クラブ連合会日吉支部、家族介護 清水齊(上川)、瀧谷富美子(川上)、宇都宮徳子(吉波)、京屋米子(近永)、武田清美(東仲)



▶穀彩村の会員からポン菓子づくりを教わる児童

## 収穫の喜びを分かち合う

### ◎日吉小学校ふれあい収穫祭

11月26日、日吉小学校でふれあい収穫祭があり、日吉ふれあい農園で9月に収穫された、とうきび、もちきび、こきび、あわを使ってもちつきが行われました。

この催しは、地域の方とともに育てた作物を、昔ながらの方法で調理して食べることで、食に対する感謝の気持ちを育てようと毎年実施しているものです。当日は、日吉小学校児童、穀彩村、鬼北町生活研究協議会の会員ら約90人が参加。蒸した雑穀入りのもち米でもちつきを行ったほか、ポン菓子づくり体験、生活研究協議会による頭饅作りなどがあり、参加者は楽しみながら交流を深めていました。

## 地域づくりの達人が全国から集結

### ◎第26回地域づくり団体全国研修交流会

地域づくり団体全国研修交流会が11月13日から15日にかけて、宇和島市を主会場に開催されました。

この催しは、全国各地で地域活性化のために汗を流している団体が集まり、情報交換と地域づくりにかける情熱を高め合うことを目的に、各県持ち回りで毎年実施されています。

鬼北町で行われた分科会には、8県から17団体が参加。それぞれの活動報告から意見交換を行い、地域づくりの今後の課題と可能性を探りました。また、北宇和高校生徒による河川浄化活動の研究発表では、素晴らしき取り組みに参加者全員が刺激を受けるなど、収穫の多い3日間となったようです。



▶分科会参加者